

代表者名	山本 健蔵	所管部課名	農林水産部農業経済課
所在地	秋田市山王3-8-15	設立年月日	昭和28年6月16日

【沿革及び県の出捐理由】

中小漁業融資保証法に基づき、中小漁業者等の漁業経営に必要な資金の融資を円滑にするため、系統金融機関が行う中小漁業者への貸付に対して債務保証を行うことを目的に昭和28年設立され目的達成支援のため出資。

【出捐者】（25年度当初） (千円、%)

区分	団体数	出資額	構成比
秋田県	1	153,150	44.0
市町村	7	42,450	12.2
その他	61	152,400	43.8
計	69	348,000	100.0

【事業】

①主たる業務

信用補充業務
中小漁業者が系統金融機関から資金を借入する際の債務保証をすることを通じて中小漁業者の発展に寄与する。

②事業実績 (百万円、件)

事業名等	22年度	23年度	24年度
保証残高	835	751	774
保証件数	147	141	151

③24年度事業概要及び25年度事業計画・目標

24年度保証業務 新規25件 135,670千円 求償権回収635千円
25年度保証業務 新規46件 230,000千円 求償権回収620千円

【組織】

①役員数 (H25.7.1現在) (人)

	理	事	監	事
常勤		1		
内、県退職者				
内、県職員				
非常勤		8		3
内、県退職者				
内、県職員		1		
計		9		3
内、県関係者		1		

②職員数 (H25.4.1現在) (人)

正職員	1	正職員 平均年齢	正職員 平均勤続年数
内、県退職者		55歳	37年
出向職員			
内、県職員			
臨時・嘱託	1	平成24年度正職員平均年収 千円	
内、県退職者			
計	2		
内、県関係者			

役員報酬支給対象者数(平成24年度)	8人
役員報酬支給対象者平均年齢	68歳
平均役員報酬額(平成24年度)	405千円/年

【財務】

①損益状況 (24年度) (千円)

	金額	金額
経常収入 A	34,430	
受託事業収入		
補助金収入		
自主事業収入	18,810	
運用益収入	15,401	
その他	219	
経常支出 B	33,530	
人件費	15,616	
その他	17,914	
経常損益 C=A-B	900	
経常外収入	16	
経常外支出		
諸税		
当期損益	916	

②財務状況 (24年度末) (千円、%)

	金額	構成比
流動資産	828,025	50.7
固定資産	804,507	49.3
資産計	1,632,532	100.0
流動負債	934,695	57.3
短期借入金	149,000	9.1
固定負債	217,908	13.3
長期借入金	156,700	9.6
負債計	1,152,603	70.6
基本金	348,000	21.3
剰余金	131,929	8.1
正味財産計	479,929	29.4
負債・正味財産計	1,632,532	100.0

県の損失補償額	県の債務保証額
---------	---------

退職給与引当状況	要支給額	引当額	引当率
	26,422	26,422	100.0%

【県の財政支出】 (千円)

	22年度	23年度	24年度	支出目的・対象事業概要等
補助金				
委託費				
貸付残高				

1 主な経営指標

項目		単位	22年度	23年度	24年度	22-23増減	23-24増減
健全 展全 性性	自己資本比率	%	27.76	29.52	29.40	1.76	△ 0.12
	借入金依存率	%	18.49	19.02	18.73	0.53	△ 0.29
	流動比率	%	89.66	83.43	88.59	△ 6.23	5.16
	経常収入額	千円	21,643	32,573	34,430	10,930	1,857
効 率 性	剰余金（△欠損金）	千円	129,453	130,113	131,929	660	1,816
	総資本利益率	%	△ 0.31	△ 0.18	0.06	0.13	0.24
	職員1人当たり経常収入額	千円	10,822	16,287	17,215	5,465	928
	人件費比率	%	80.83	54.14	45.36	△ 26.69	△ 8.78

2 経営目標の達成状況

経営目標			22年度	23年度	24年度	25年度
経営 改 善 指 標	自己資本比率 (%)	目標	20.00	20.00	20.00	20.00
		実績	27.76	29.52	29.40	
事業 成 果 指 標	事業管理費 (千円)	目標	22,000	22,000	21,000	19,454
		実績	21,846	22,404	19,438	
事業 成 果 指 標	債務保証額 (千円)	目標	780,000	780,000	780,000	870,661
		実績	835,520	750,645	774,358	
事業 成 果 指 標	求償権回収額 (千円)	目標	1,000	1,000	800	620
		実績	1,060	880	635	
顧客満足度指数	目標		—	—	—	—
	実績		—	—	—	—

3 経営状況及び課題、経営目標の達成状況についての自己評価

水産業を取り巻く情勢は、水産資源の悪化や円安による燃油及び漁業資材価格の高騰等の影響を受け、中小漁業者の経営は、一層厳しさを増している。漁業信用基金協会の経営状況は、これらの状況を反映し、設備投資の減少に伴う保証の伸び悩みや、長引く低金利により、基金の運用利息と保証料を主な収入元としていることから、厳しい運営が続いている。

平成24年度の保証業務については、年度初めの大型台風並の暴風により、漁船・漁具等に多大な被害が発生したため、県で創設した「暴風被害復旧支援資金」等に積極的に融資保証を行った他、役員報酬等の大幅な事業管理費の削減に努めた結果、最終的に約916千円の当期利益金を計上した。

今後も協会の財務基盤の強化と事業規模の拡大を図るために、国の「基金協会組織強化対策事業」に参画し、合併等による組織再編について検討していく。

4 総合評価（計算書類等の資料による評価）

I 概ね安定した経営内容	II 一層の努力を要する経営内容
<ul style="list-style-type: none"> ・有価証券利息が前年度比1,664千円増加したことと人件費等の削減△2,018千円により、経常利益900千円を確保し、当期利益も916千円の黒字となり、収支均衡を維持している。 ・引き続き、財務基盤の強化に取り組みつつ、安定した事業運営が求められる。 	